※番号は一般質問の発言順です。

一般質問

定例会では、市政全般について一般質問が行われます。今定例会では、12月2日から8日の中で5日間行われ、22名の議員から42の質問があり、行政側の対応をただしました。掲載内容は、それを要約したものです。詳しくは、会議録、会議録検索システムでご覧いただけます。

○会議録（2月下旬発行予定）
図書館、市政図書室
○会議録検索システム（2月下旬更新予定）
市ホームページ
※情報端末機（パソコン）の設置場所は、市役所本庁舎1階市民相談室、七生支所、図書館、市政図書室、中央公民館、市立病院です。

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。
市ホームページ ⇒ 市議会・議会中継 から
http://www.city.hino.lg.jp/

①清水 登志子（日本共産党）

多摩平団地跡地へのイオンモール進出―いま日野市がすべきことはなにか

問　商店街の活性化について問う。

答　イオンモールに対しても地元商店会活性化協議会等への参加を求め、両者がお互いの強みを生かせるように努めます。

問　子育て世代や高齢者の要望に応えるサービスの提供について問う。

答　市民の需要に応えられるよう、今後もイオンモールと具体的な協議を行っていきたいと考えています。

問　全国で撤退を繰り返している本商業施設に対し、身勝手な撤退は許さないというルールを作ることは可能か。

答　万が一のことが有っても、地元へのサービス機能が損なわれないよう、土地の貸し主であるURに対して配慮・協力を求めていきます。

②江口 和雄（民主市民ネットワーク）

安全・安心は財政厳しくとも最優先に

問　道路のデータベース化事業について問う。

答　改修計画や工事履歴等、総合的な管理システムとして運用するために調査・研究をしています。

問　自転車専用通行帯の新たな設置について問う。

答　日野警察署及び関係機関との連携により、段階的に取り組む考えです。

問　今後の子どもたちの見守り活動について問う。

答　地域による活動の充実と、ひのっちの更なる有効活用を検討します。

問　高齢者の安全・安心を確保する福祉施策は。

答　高齢者福祉総合計画を策定し、介護保険事業の充実を図ります。

問　健康事業・健診事業の今後の方向性は。

答　日野人運動事業や相談事業の継続、また5大検診事業における公費負担の公平性を保つ方策を検討し実施していきます。

③奥住 匡人（自民クラブ）

日野の底力

問　第2期日野市地域福祉計画におけるアクションプランの内容と取り組みを問う。

答　分野を問わず相談が出来る福祉の初期総合相談窓口の設置、地域の方が気軽に集える交流広場の立ち上げ支援等がプランの主な柱です。既にモデル地区での実施・検証を行っており、総括して全市展開を図る予定です。

問　地域における市民活動に対する支援について問う。

答　住民主体の地域福祉活動を推進するため、社会福祉協議会との連携・協働が不可欠と考えます。

問　地域で活動する人材育成の取り組みを問う。

答　社会福祉協議会では、ボランティア体験学習等の各種講座を開催し、知識や技術を地域に持ち帰り普及してもらえるよう、地域福祉の担い手の発掘や育成に努めています。

④佐藤 洋二（無会派）

電力会社から電気を買わない方法～PPS導入のすすめ

問　導入の意向について問う。

答　最小の経費で最大の効果を上げられるよう、平成24年度に小・中学校全校への導入に向けて準備をしています。また、他の公共施設については、効果を検証しながら検討したいと考えています。

再度問う市民会館の呼称

問　ひの煉瓦（れんが）ホールの命名に当たり、外壁の材質検査等を行ったのか。

答　検査は実施していませんが、煉瓦（れんが）調であることを認識し選定しました。

問　条例との整合性等について問う。

答　施設における愛称の取り扱いや表記方法等のルールについて検討を進めています。最終的に必要があれば、条例化も考えているところです。

⑤谷 和彦（自民クラブ）

自転車の事故防止対策について

問　今後の対応や安全教育の取り組みは。

答　警視庁の推進計画が公表された後に、関係各機関と連携し対策を講じます。また、自転車安全運転教育を継続して実施していきます。

平成23年度日野市行政評価システムからみるICT活用教育について

問　教育委員会の考え方を問う。

答　各学校に配備したICT機器を、より効果的に活用することが大切であると考えます。

児童虐待防止に対する市の対応について

問　防止対策について問う。

答　防止と早期発見に向け、関係機関と連携を図り、地域の方々に情報提供等の理解と協力を求めていきます。

⑥中谷 好幸（日本共産党）

日野自本社工場の移転計画は見直しを―市長は日野自および親会社・トヨタに申し入れを行え！

問　下請業者や労働者の実態を把握し、その声を日野自動車に伝えるべきではないか。

答　時間をかけながら移転するので、影響はほとんど無いものと日野自から聞いています。

問　工業振興によるまちの活性化のため、親会社のトヨタにも協力を求めるべきでは。

答　今後とも、日野自動車と情報や意見を交換するなど密接にかかわり、話し合いを進めます。

市立たかはた保育園の存続を―借地期限切れまで3年、対応を急げ！

問　市の対応を問う。

答　26年3月までに解体撤去し、底地を返す方向で検討せざるを得ません。

⑦秋山 薫（民主市民ネットワーク）

今後の日野市の財政運営について問う

問　事業を評価する際に、無駄の排除に努める必要があるのでは。

答　事業内容の見直しに当たり、新たな課題等に財源を再配分するなど、優先順位を考慮した予算編成を行います。

地域の諸問題（豊田駅周辺の街づくり・他）について市の考えを問う

問　イオンモールの出店により、期待されるまちづくりへの効果は。

答　地域経済においても、雇用の創出、税収の増加、地域価値の向上などに大きなメリットがあるものと考えています。

問　震災がれき等の受け入れについて問う。

答　処理対象の災害廃棄物の安全性を確認した後に、受け入れの可否について検討していきます。

⑧奥野 倫子（日本共産党）

東豊田汚水処理場跡地を「コミュニティーと防災の拠点」に！

問　跡地に建設する予定のマンション内に交流センターを併設出来ないか。

答　市がその部分を買い取ると仮定した場合、財政面の更なる負担に加え、市単独での施設の建て替えが困難になる等、多くの課題を認識しています。

生活保護ケースワーカーの人員不足を解決し、人権教育を徹底せよ！

問　人員体制と職員研修について問う。

答　再任用職員の配置により就労相談体制を整え、ケースワーカーの負担を緩和しています。また、今後の配置は、組織全体の中で調整していきます。一方、人権教育については、市民に対する丁寧な対応を含め、今後も積極的に取り組んでいきます。

⑨窪田 知子（公明党）

女性の視点からの防災対策

問　日野市防災会議委員の見直しについて問う。

答　条例に基づき各団体から選出していますが、防災に関する計画作成には女性の視点が重要であると認識しています。今後は構成員に女性の割合が増えるよう検討します。

問　女性や障害者等に配慮した避難所の運営体制について問う。

答　避難所マニュアルを見直す中で、災害弱者に配慮した施策を盛り込みたいと考えています。

多摩平下水処理場跡地の活用と周辺整備について

問　活用計画における地域のメリットは。

答　地区センターの建設や広場の設置、歩道の整備など生活環境の改善が見込まれ、地域の活性化や安全・安心の充実等が図られると考えます。

⑩池田 利恵（自民クラブ）

自治会組織率向上への市の支援策とは？

答　9月に実施したアンケート調査の結果に基づき、モデル自治会を選定する予定です。そして、その自治会が活発である要因等を引き出し、他の自治会の加入率向上につなげたいと考えています。

システム契約に一層の競争入札導入を！

問　情報化統括責任補佐官を登用してはどうか。

答　費用の適正管理や、システム導入の工程管理への助言等、さまざまな役割が想定されるため、近隣市の動向も見ながら検討したいと考えます。

地域主権一括法施行への考え方を問う！

答　自主性や独立性を発揮出来るよう、市の方針や施策と照らし合わせて積極的に活用することで、地域に密着したきめ細かい行政を目指します。

⑪古池 初美（民主市民ネットワーク）

不登校対策の充実を！

問　今年度より配置された登校支援コーディネーターの役割を問う。

答　各学校や関係機関を訪問し、不登校及び不登校傾向にある児童・生徒の状況を把握し、支援の必要な子どもたちを関係機関につなぐ役割を担っています。

問　やり直し、再スタートが出来る仕組みや支援について問う。

答　学習していない部分について、教員などによる個別指導や、学力向上支援員の活用などに取り組んでいます。

いまこそ自然エネルギーの普及を！

問　市民出資型の発電所についての見解を問う。

答　法律や金融の専門家の支援が不可欠と言われており、今後これらの先進的事例について調査・研究したいと考えます。

⑫大塚 智和（公明党）

災害対応型自動販売機の導入について

問　災害対応型自動販売機が設置されていない施設への取り組みは。

答　社会貢献型として設置されたものであり、販売機の入れ替え時期や新設時に導入を図っていきたいと考えます。

これからの道路整備について

問　歩行者・自転車・自動車が、安全に共存していくための道路整備について見解を問う。

答　警察庁の通達内容に従い、日野警察署及び関係各機関と連携して、対応していきます。

問　高幡橋南詰交差点から北野街道、南平方面の道路拡張工事に係る、歩行者・自転車安全走行対策についての見解を問う。

答　今後、道路管理者の東京都及び交通管理者の日野警察署と調整を図りたいと考えています。

⑬西野 正人（自民クラブ）

日野市における生活保護施策状況について

問　市の組織的な取り組みについて問う。

答　受給者の自立に向けて、次世代育成支援プログラム等を活用し、一層の援助・指導を行います。

都市計画道路3・4・8号線開通に向けてのまちづくり状況について

問　開通に向けての市民要望は。

答　周辺地域への信号機新設の要望が有り、前向きに対応していきます。

平成23年の市政について

問　今後の市財政について問う。

答　公共政策・経済・環境等の多角的な切り口で、市の将来を見据えた50年ビジョンプロジェクトに取り組んでいきたいと考えています。